

【報道関係各位】

2026年4月2日  
一般財団法人 日本気象協会

## 日本気象協会、海洋データ API サービス「Marine Data API」を提供開始 ～海洋事業の DX 推進を日本気象協会が支援～

一般財団法人 日本気象協会(本社:東京都豊島区、理事長:渡邊 一洋、以下「日本気象協会」)は、世界の海域における気象・海象データを API 形式で提供する海洋データ API サービス「Marine Data API」を 2026 年 4 月 2 日(木)より提供開始します。

「Marine Data API」は、世界の海域における高品質な気象海象データを取得できる海洋データ API サービスです。海上風や波浪、海流などの気象海象データを API で取得することで、企業独自の Web サービスやアプリケーション、船舶機器への表示、データ分析への活用が可能です。企業のシステムやサービスとの円滑な連携を通じ、海運・港湾・物流分野において、安全航海の支援や環境負荷低減航海の実現、配船・運航計画の高度化など、海洋事業のデジタル化を支援します。

### ◆Marine Data API のサービス内容

プラン	API 名	予測時間	提供要素	ファイルフォーマット
標準	全球気象海象 メッシュ予測 API	240 時間	海上風 (風向・風速) 総合波 (有義波高・周期、平均波向) 風浪 (有義波高・周期、平均波向) うねり (有義波高・周期、平均波向) 海流 (流向・流速)	PNG 形式
標準	日本近海気象海象 メッシュ予測 API	96 時間	海上風 (風向・風速) 総合波 (有義波高・周期、平均波向) 海潮流 (流向・流速)	PNG 形式
標準	波浪ポイント予測 API	240 時間	任意地点における 海上風 (風向・風速) 総合波 (有義波高・周期、平均波向) 海流 (流向・流速)	JSON 形式
標準	海面更正気圧コンター API	264 時間	海面更正気圧	JSON 形式
オプション	台風情報 API	5 日先まで	実況および予測情報	JSON 形式

### ◆Marine Data API の特長

- 気候変動に伴うリスクへの対応を支援  
気象海象データを活用することで、リスクを考慮した運航判断や事業計画の策定を支援します。
- 各種システムへの気象海象情報の表示が可能  
API により取得したデータを、アプリ、Web サービス、サイネージ、船用機器などに重ねて表示することができます。
- 安全航海と環境負荷低減航海を支援  
波浪・海上風・海流などの予測データを活用することで、安全性と効率性を両立した航海計画の策定に活用できます。
- 自社データと組み合わせた運航・配船計画の高度化  
企業が保有する運航データなどと組み合わせることで、配船計画や運航計画の高度化を支援します。



#### ◆利用用途

- アプリケーションや Web サービスへの気象海象情報の表示
- 舶用機器や船舶システムとの連携
- 気象海象データを用いた分析や運航支援
- 配船計画・運航計画の高度化

#### ◆得られる効果

- 港湾における入出港や荷役可否判断をサポート
- 港湾作業の安全管理、効率的な作業管理をサポート
- 配船計画や運航計画作業の効率化、コスト削減
- 舶用機器やソフトウェアの機能拡張により付加価値を創出
- データ解析や DX 推進への活用

#### ◆料金・提供形態

各 API は、月額定額制で提供します。台風情報 API はオプション(追加料金)として提供し、料金は月間リクエスト回数に応じて設定します。

利用目的やシステム構成に応じて、最適なプランを提案可能です。

#### ◆サービスの詳細や導入に関するお問い合わせ

一般財団法人 日本気象協会 防災・気象 DX 本部 防災事業部 海洋事業課

TEL:03-5958-8156

Email:wavedata@jwa.or.jp

以上